

人はみな、  
生かされて  
生きてゆく。  
更生保護ネットワーク

薩摩保護区保護司会 広報紙

2020(令和2年)

8月  
第6号

# 保護司会だより

編集・発行：薩摩保護区保護司会 薩摩川内市・さつま町 薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内） ☎0996-41-6196 FAX 0996-41-6196

## 「保護司の安定的確保」について



薩摩保護区保護司会

会長 田中 実  
たなか みのもる

薩摩保護区保護司会は薩摩川内市とさつま町をそのエリアとして北支部・南支部・東支部・西支部・さつま支部の五つの支部に分け、現在八十六名で活動をしています。

保護司活動は保護観察や生活環境の調整による犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支援する活動（処遇活動）と、犯罪や非行を生まない地域作りのための活動（犯罪予防活動）を両輪として安全・安心な地域作りを目標としています。

しかしながら今、その活動を行う保護司の確保が全国的に難しくなっているのが実情です。

そのような中で私たち薩摩保護区では行政・民生委員・社会福祉協議会・青年会議所・更生保護女性会・BBS会の方々に委員として参加いただき保護司適任者の人材情報の提供や地方公共団体の職員の保護司への就任について協力を求める「保護司候補者検討協議会」を設置して新人の発掘、その確保に努力をしています。

また、委嘱を受けた保護司が処遇活動等で不安や悩みをかかえても、更生保護サポートセンターを活用した保護司同士の情報交換や、ベテラン保護司が経験の少ない保護司をサポートする複数担当制の活用等を通じて経験の少ない保護司を支援していくことでそれぞれの保護司が意欲的に活動できるよう保護司会として支えていきたいと考えています。

## 更生保護：立ち直りを支えるしくみ

罪を犯した人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐしくみを更生保護といいます。

更生保護ボランティアとしての  
直接的な支援

地域社会に  
復帰

地域の人たちの理解と協力

### 保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。

住居が必要

地域との  
絆が必要

仕事が必要

“社会を明るくする運動”に参加する。

刑務所や少年院、職業訓練などで作ったものを購入する。

更生保護ボランティアを支援する。

協力雇用主や更生保護  
施設の職員として支援

更生保護女性会員やBBS  
会員として支援

罪を犯した人の立ち直りを見守り、  
彼らの存在を受け入れる

薩摩地区更生保護サポートセンターは、次の様な事に利用できます。

1. 地域住民からの犯罪・非行に関する相談の窓口
2. 地域における関係機関・団体との連絡・協議
3. その他更生保護に関する活動（ご相談下さい）

所在地	薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内）
名称	薩摩地区更生保護サポートセンター（薩摩保護区保護司会事務局）
電話	0996-41-6196 FAX 0996-41-6196



令和元年

10/12

## 令和元年度薩摩川内地区 学校長・薩摩川内警察署・ 薩摩川内市との合同研修 会・情報交換会

学校・警察・行政等と連携し、犯罪や非行のない明るい社会づくりに務めています。(写真は前年度分)



令和元年

11/28

## 令和元年度視察研修 更生保護施設「草牟田寮」 及び「鹿児島保護観察所」

更生保護活動に活かすために、関係更生保護施設等の視察研修を実施しています。

令和元年

12/19

## 第3期定例研修会&情報交換会

今回は「刑の一部執行猶予制度の現状」という研修テーマで、鹿児島保護観察所の馬場観察官から講話があり、事例研修やグループ討議等を通して理解を深めました。



令和2年

2/18

## 令和元年度 各支部処遇会議

保護司相互の情報交換の場として各支部で処遇会議を開催し、研修・情報交換会及び懇親会等を実施しています。



令和2年

5/27

## 令和2年度薩摩保護区保護司会 総会／第1期定例研修会

令和2年度の活動等について総会を行い、その後、定例研修会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のために今年は紙面決議となりました。1年間に定例研修会を3回、各支部での処遇会議等を実施しています。(写真は前年度分)





令和2年  
7/1  
薩摩川内市

令和2年  
7/2  
さつま町

## 令和2年度「社会を明るくする運動」薩摩川内市長及びさつま町長への総理大臣メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し毎年7月を強調月間として全国で展開をされています。再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージの伝達式を薩摩川内市市役所及びさつま町役場で行いました。



令和2年  
7/22

## 吉内孝徳保護司「春の叙勲」受章

令和2年度春の叙勲及び褒章の受章者が発表され、薩摩保護区から吉内孝徳保護司が栄誉を受けました。(コロナのために東京での授章式が中止になり鹿児島保護観察所にて授章式が行われました)



「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し毎年7月を強調月間として全国で展開をされています。再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージの伝達式を薩摩川内市市役所及びさつま町役場で行いました。

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し毎年7月を強調月間として全国で展開をされています。再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージの伝達式を薩摩川内市市役所及びさつま町役場で行いました。

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し毎年7月を強調月間として全国で展開をされています。再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージの伝達式を薩摩川内市市役所及びさつま町役場で行いました。

誰が必要とされる社会を目指して

最優秀賞（法務大臣賞）

第69回（2019年）  
社会を明るくする運動  
作文コンテスト

島根県浜田市立三階小学校

山本 彩永



後の生活は苦勞の絶えないものになっていくのだろうと考えられます。そんな中で、「一人で死ねばいい。」などといった報道を目にすることは、想像を絶するくらい辛いことなのだと思います。

自分は社会に必要な人、と思っている人がいるのならば、そういう人たちが少しでも社会の中で自分が誰かのために役に立っているという喜びを実感できる仕組みができればいいと思います。今、小学生である私には、大きなことはできません。私にできることは何だろうか。いろいろ考えてみましたが、一つは自分から進んであいさつをすることだと思いました。私たちの地域では、登校時に、「見守り隊」と呼ばれる人たちが、主に交通量の多い横断歩道で交通指導をしてくださっています。自分からあいさつをすることで、とても喜んでもらいました。あいさつを通して、「人とつながる喜び」を感じました。あいさつのあふれる地域を実現することで、だれもが地域の一員としての所属感をもつことができるのだと思います。

また、私は学校で、六年生として昼休みに下学年と一緒に遊ぶ活動をしてきました。お昼の放送で呼びかけると、たくさんの方が集まってくれて、一緒に楽しくおにごっこやケイドロをして楽しみました。「またやりたい！楽しかったよ！ありがとう。」と言ってくれた一年生は、とても嬉しそうでした。こうした自分の活動によって、「学校に来てよかった。」という誰かの喜びをつくることのできたことは、とても意味のあることだと思ったので、これからも続けていきたいと思っています。

他にも、私はクラブ活動や委員会活動でリーダーをしています。このように、わたしは学校の中に自分の役割があり、学校の役に立っているという実感をもっています。人の役に立つということは、私の大きな喜びとなっています。

「死にたいなら人を巻き込まずに自分だけ死ねばいい。」「死ねばいいなら人に死なせろ。」など、死ねばいい。」といった意見は、被害者のことを考えると、気持ちよく分かります。そのような気持ちになるのは当たり前のような気がします。しかし、本当の意味で社会全体から犯罪を減らしていくために、「この社会の中で必要とされていない人なんて誰もいない。」ということをみんなで考えていくことが大切だと思います。この言葉を胸に、私はこれからも自分から人を大切にできる人間として生きていきたいです。



## 令和2年度薩摩保護区保護司会理事役員名簿

支部名	役職名	氏 名	学校連絡保護司
南	会 長	田 中 実	れいめい中
東	副会長	村 原 政 和	黒木小、祁答院中
東	副会長	永 山 伸 一	東郷学園
北	事務局長 サポートセンター長	福 山 義 幸	亀山小、川内北中
南	会 計	加治屋 卓 朗	平佐西小、平佐東小
北	北支部長	伊 東 正 正	育英小、城上小
南	南支部長	鹿子木 努	平佐西小
東	東支部長	初 田 健	入来中
西	西支部長	蔵 元 保 海	中津小、上甕中
さつま	さつま支部長	勝 田 俊 治	山崎小

支部名	役職名	氏 名	学校連絡保護司
南	犯罪予防部長 駐在保護司	野 平 誠	川内中央中
南	協力組織部長	永 留 博 文	川内南中
北	研修部長	齊 藤 治 城	八幡小
さつま	総務部長	山 下 英 雄	盈進小
南	社会貢献活動部長	久木野 勲	隈之城小、川内南
さつま	理 事	柏 木 幸 平	宮之城中
東	理 事	徳 永 幸 夫	樋脇小、樋脇中
北	監 事	小田原 勇次郎	可愛小、川内北中
さつま	監 事	小椎八重 巳 年	宮之城中
北	事務局次長	松 下 昭 子	高来小、城上小、平成中

## 令和2年度薩摩保護区保護司会学校連絡保護司名簿

支部名	氏 名	学校連絡保護司
南	宮 田 洋 子	永利小
南	尾 曲 祐 一	隈之城小、川内南中
南	井 上 光 男	峰山小
南	山 元 貴 代	平佐西小、川内中央中
南	岩 元 ひとみ	隈之城小
南	西 一 徳	永利小
南	内 田 一 樹	川内小
南	有 馬 貞 喜	平佐西小
南	中 内 カ ネ	川内小
南	山之内 文 夫	峰山小
南	吉 内 孝 徳	川内小
南	中 川 一 朗	隈之城小、れいめい中
南	軍 神 利喜男	川内中央中
南	松 元 邦 明	川内小、川内中央中

北	田 中 晴 樹	可愛小
北	三 浦 美 幸	育英小
北	宮 田 修 一	育英小、八幡小、川内北中
北	尻無濱 一 喜	育英小
北	神 田 隆 美	可愛小
北	亀 田 信 暁	水引小
北	大 村 恵美子	水引小、水引中
北	手 打 哲 也	水引小
北	加 藤 信 行	亀山小
北	黒 屋 善 文	亀山小
北	下 園 絹 子	水引小、水引中
北	大 園 喜一郎	育英小、八幡小
北	檜 木 敏 文	水引小、水引中
北	山 口 就太郎	可愛小
北	中 間 則 行	水引小、水引中

東	中 村 健一郎	東郷学園
東	山 下 浩 一	東郷学園
東	内 野 久 子	東郷学園

支部名	氏 名	学校連絡保護司
東	田 島 功 輔	副田小
東	村 岡 文 正	入来小、入来中
東	大 田 純 一	樋脇小、樋脇中、市比野小
東	水 流 信 雄	大馬越小、入来中
東	笹 森 純 一	市比野小
東	村 上 眞理子	市比野小、樋脇中
東	岡 野 龍 信	蘭牟田小
東	田 島 洋 輝	祁答院中、大妻小
東	平 林 輝 美	大妻小、祁答院中
東	田 代 幸一郎	東郷学園
東	石 原 稔 雄	祁答院中、上手小
東	瀬戸山 義 弘	樋脇小、樋脇中

西	加 来 賢 隆	手打小、海陽中
西	小 村 昌 治	鹿島小
西	下 江 伊八郎	海星中
西	野 島 秋 彦	里小、里中
西	中 野 力 丸	長浜小
西	野 島 孝 信	里小、里中

さつま	久 保 敬 作	佐志小
さつま	野 崎 華 子	宮之城中
さつま	三 腰 鈴 子	盈進小
さつま	浜 崎 典 子	盈進小
さつま	中 山 幸 男	宮之城中
さつま	東 哲 雄	鶴田小
さつま	木 下 賢 治	中津川小
さつま	新 改 幸 一	柏原小
さつま	福 山 道 徳	求名小
さつま	水 口 憲 一	永野小
さつま	手 塚 良 平	流水小
さつま	堂ノ脇 一 則	盈進小
さつま	徳 留 昇	山崎小
さつま	小 森 良 峰	求名小